

## 最近の管内経済概況

(平成30年7月の経済指標を中心として)

～ 持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、改善している。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少している。

全体として、管内経済は、持ち直している。

なお、今回の資料の取りまとめに際して、「平成30年北海道胆振東部地震」の影響は反映していない。

平成30年9月13日

照会先 : 経済産業省北海道経済産業局  
総務企画部企画調査課









T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : [hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp](mailto:hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp)

U R L : <http://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(平成30年9月現在)

発表月	平成30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月との判断比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
全国	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	/	/
生産活動	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	<u>減少に転じている</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	減少している	
住宅建設	<u>弱まっている</u>	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	<u>減少している</u>	<u>増加している</u>	増加している	増加している	
雇用動向	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は増加、負債総額は減少している	/

※全国は、内閣府「月例経済報告」の基調判断。

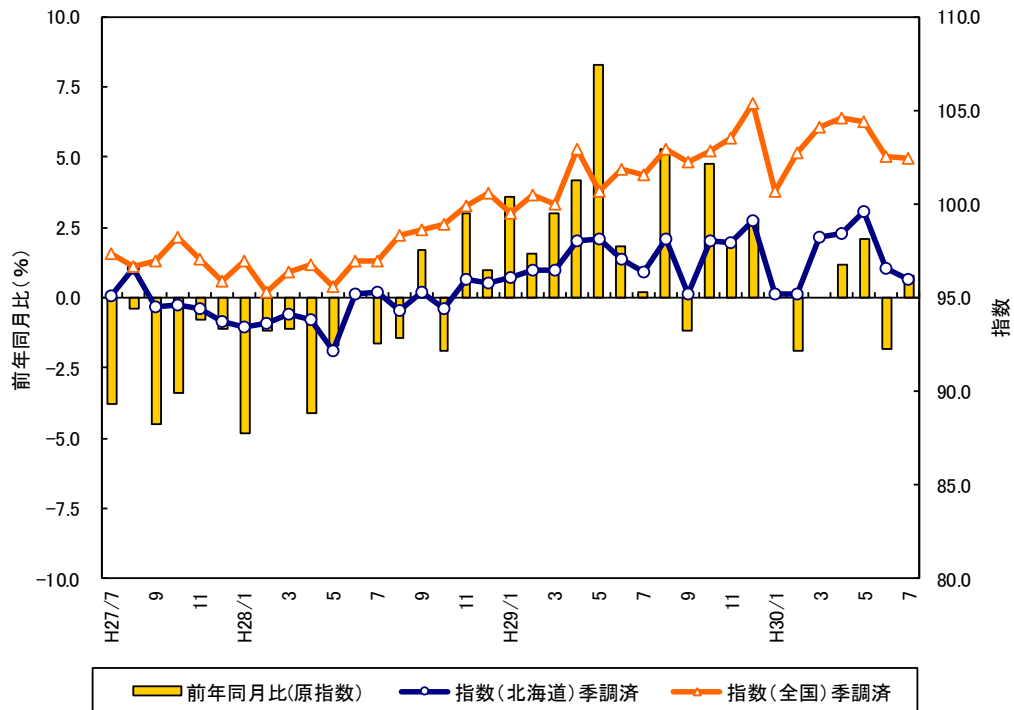
※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

7月の鉱工業生産は、前月比▲0.6%と2か月連続で低下した。  
 定期修理の終了から石油製品の生産が増加したものの、海外向け生産終了から化学機械の生産が減少した。

<7月>  
 季節調整済指数  
 北海道(速報) 96.0 (前月比▲0.6%)  
 全国(速報) 102.4 (前月比▲0.1%)

鉱工業生産指数(平成22年=100)



【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・海外向け大型受注の生産終了から、化学機械の生産が減少した。(一般機械工業)
- ・長雨や日照不足などの天候要因から、ビールの生産が減少した。(食料品工業)
- ・人手不足などによる工事の遅れから、生コンクリートの生産が減少した。(窯業・土石製品工業)
- ・定期修理の終了から、ガソリン、灯油等石油製品の生産が増加した。(石油・石炭製品工業)
- ・道内建設工事向け需要増などから、鉄骨の生産が増加した。(金属製品工業)

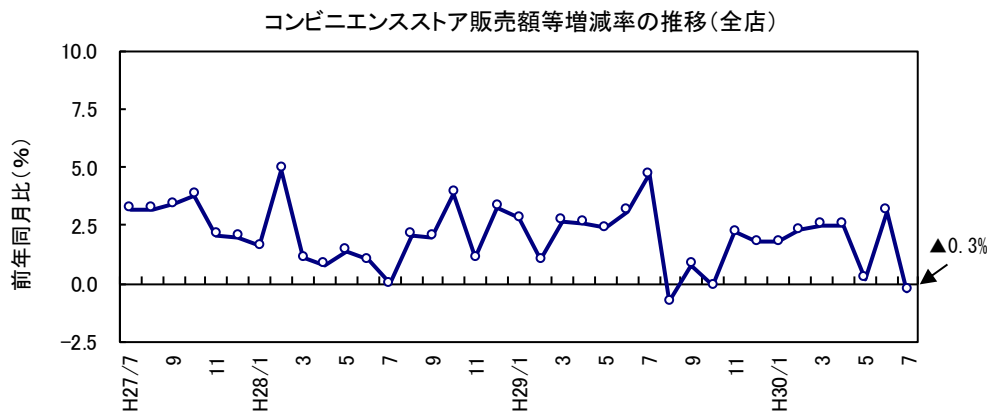
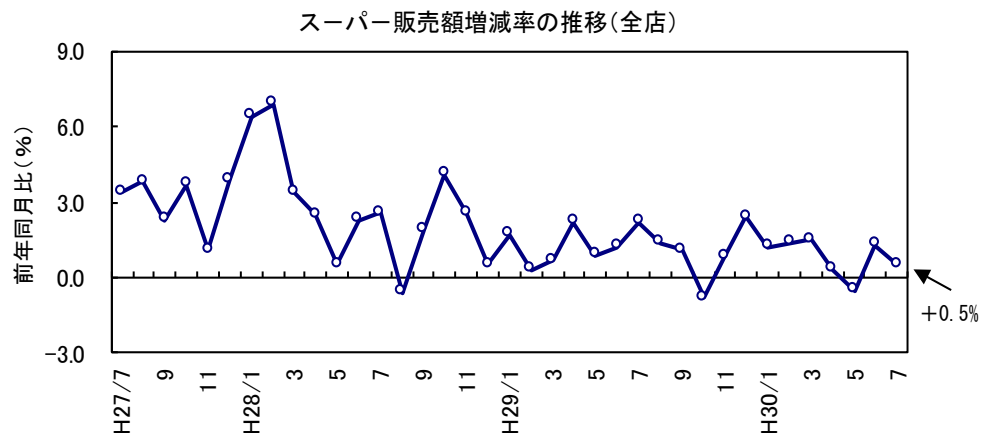
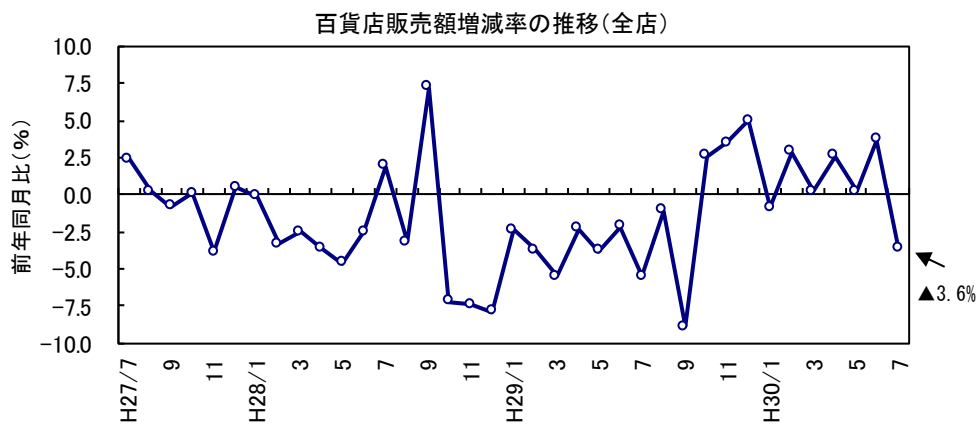
■先行き

- ・8月上旬は暑く、大通りビアガーデンの人も多かったことから、ビールの生産が盛り返す見込み。(食料品工業)
- ・今年も建設工事が多いことから、鉄骨の生産は堅調な動きが続く見込み。(金属製品工業)

(資料:経済産業省、北海道経済産業局)

7月の個人消費は、飲食料品、化粧品が堅調なことから、持ち直している。

- ・百貨店は、クリアランスセールを前倒した影響から、前年同月比▲3.6%と6か月ぶりに前年を下回った。
- ・スーパーは、野菜の相場高の影響などから、同+0.5%と2か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、前年の猛暑の反動から、同▲0.3%と9か月ぶりに前年を下回った。



【ヒアリング内容】

■現在の状況

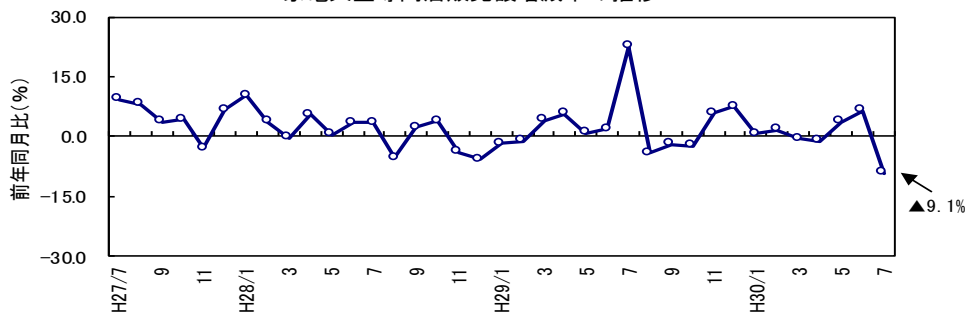
- ・夏のクリアランスセールを前倒して開催した影響で、衣料品や身の回り品などの売上が減少した。(百貨店)
- ・食料品は、野菜の相場高の影響で売上が伸びたことに加え、冷凍野菜や総菜のサラダなどが好調となっている。(スーパー)
- ・前年の猛暑による需要の反動から、アイスやドリンク類、冷たい麺類などの夏物商材の売上がマイナスとなった。(コンビニエンスストア)

■先行き

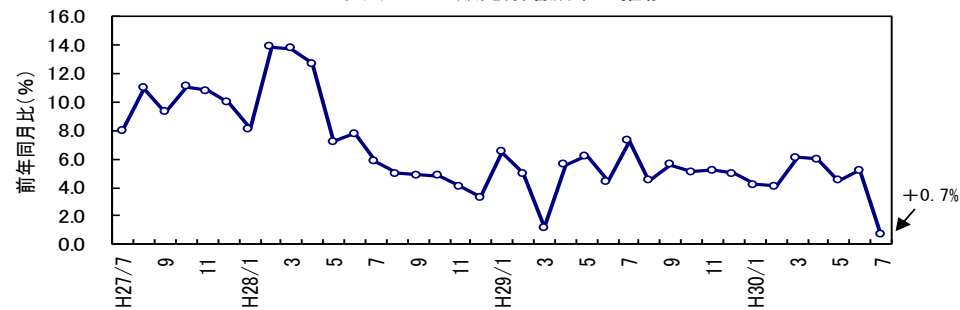
- ・お盆時期から雨天続きとなり、行楽に影響が出ているため、幹線道路沿いの店舗の売上が厳しくなりそうだ。(コンビニエンスストア)

- ・家電販売は、前年同月比▲9.1%と3か月ぶりに前年を下回った。
- ・ドラッグストアは、同+0.7%と39か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターは、同▲3.3%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同+3.2%と4か月ぶりに前年を上回った。

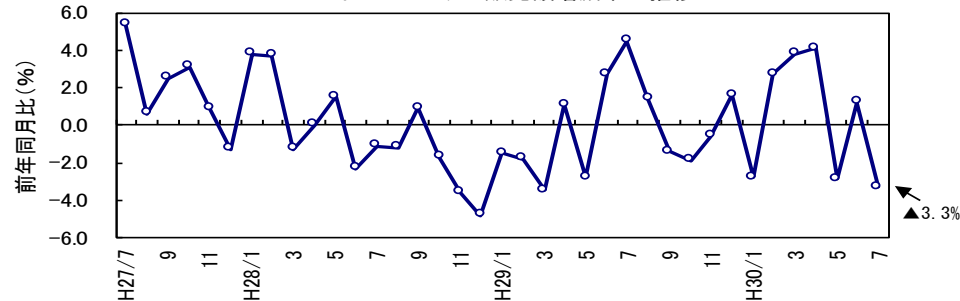
家電大型専門店販売額増減率の推移



ドラッグストア販売額増減率の推移

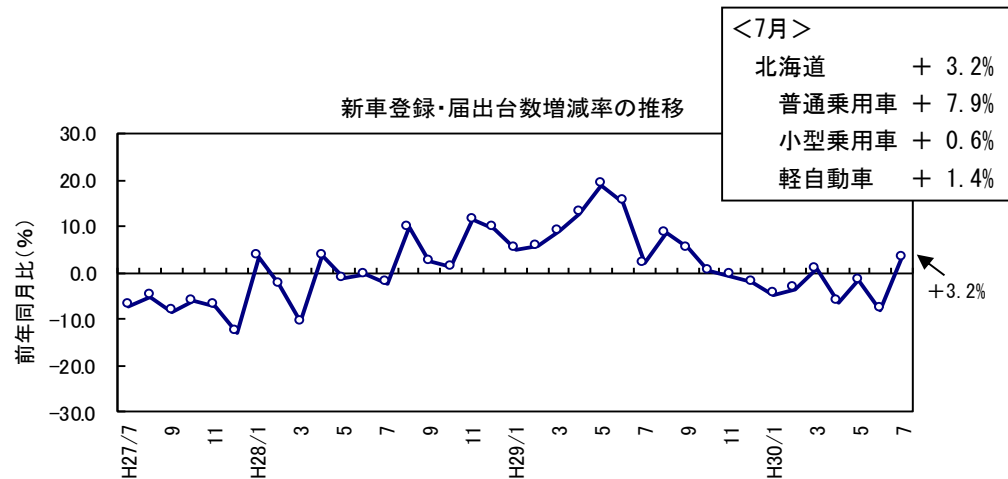


ホームセンター販売額増減率の推移



(資料:北海道経済産業局)

新車登録・届出台数増減率の推移



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・昨夏の猛暑でエアコンや扇風機が大きく伸びた反動から売上が減少した。(家電量販店)
- ・夏らしい天候にならなかったことから、日焼け止めや制汗剤、アイスなどの夏物商材が落ち込んだものの、それ以外の化粧品や飲食品で好調が続いている。(ドラッグストア)
- ・扇風機などの夏物家電やバーベキューコンロ・木炭などのレジャー用品が不調となった。(ホームセンター)

■先行き

- ・複数社が同時期に新型車を発売したので、全体の販売台数は上向くだろう。(自動車販売店)

7月の来道客数は、前年同月比▲1.0%と2か月ぶりに前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同+11.4%と26か月連続で前年を上回った。

<7月>

来道客数 130.0万人 (▲1.0%)  
 航空機 111.2万人 (▲0.1%)  
 JR 8.1万人 (▲11.6%)  
 フェリー 10.7万人 (▲1.1%)

【ヒアリング内容】

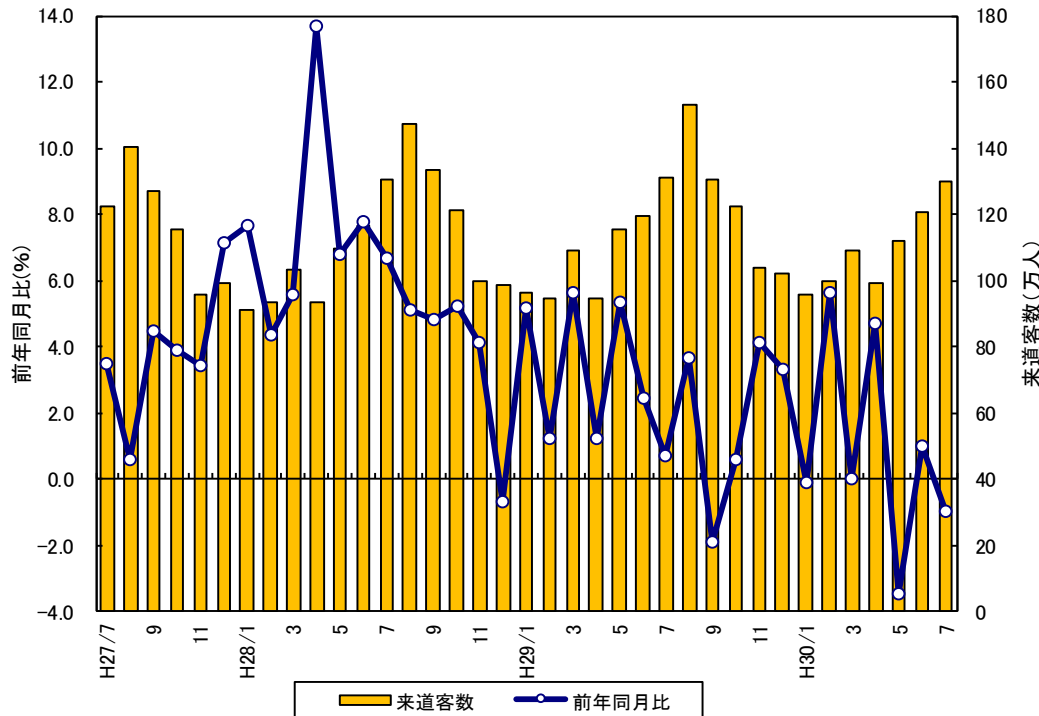
■現在の状況

- ・7月の来道客数は、大雨など天候不順が続いたことや、航空機の機材点検による運休の影響などから減少した。(関係機関)
- ・外国人観光客は韓国などからのチャーター便運航などにより増加している。(関係機関)

■先行き

- ・8月の宿泊予約は国内及び外国人観光客ともに好調であり、満室状態となることが見込まれる。(宿泊業)

来道客数推移

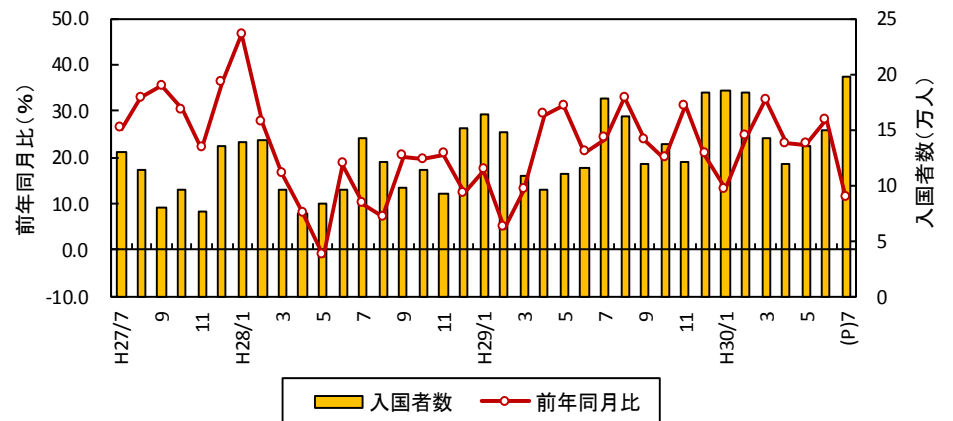


(資料:(公社)北海道観光振興機構)

<7月>

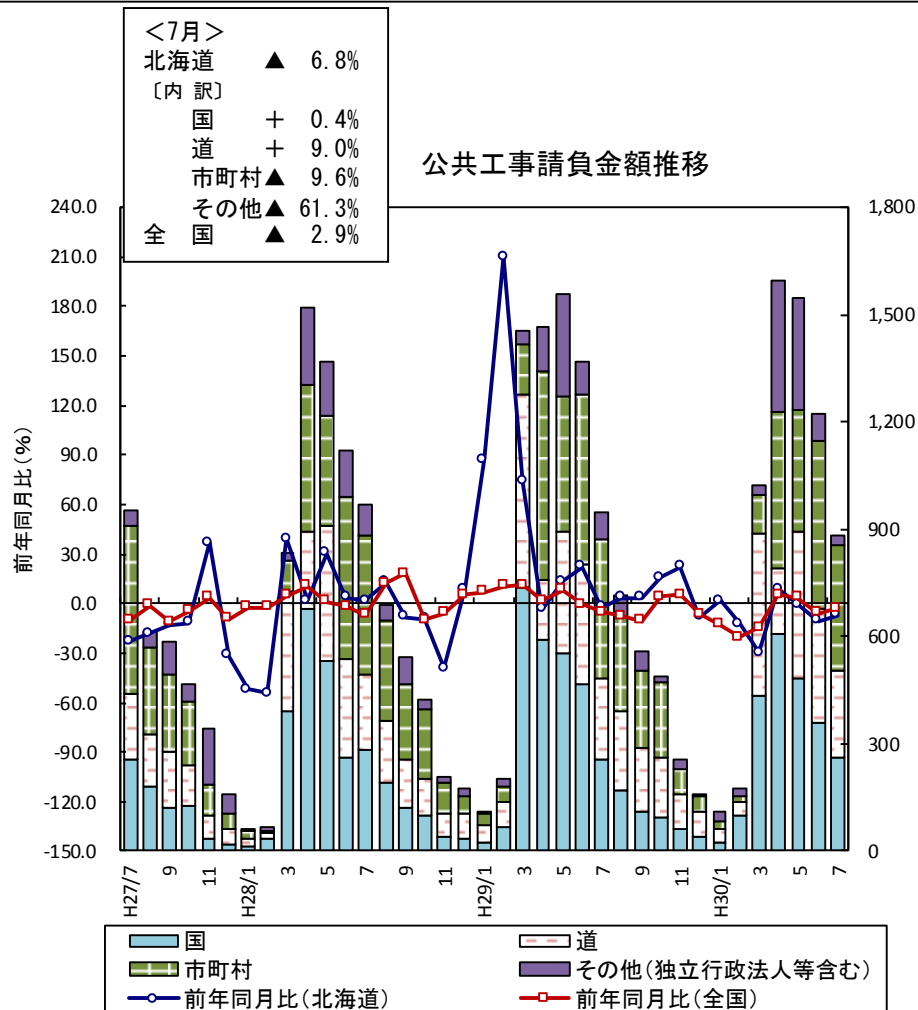
入国者数 19.8万人(+11.4%)

道内外国人入国者数



(注) ”p”は速報値 (資料:法務省)

7月の公共工事請負金額は、国、道は前年を上回ったものの、市町村、その他が前年を下回り、全体では前年同月比▲6.8%と3か月連続で前年を下回った。平成30年4月～7月の累計では、前年同期比▲1.7%となった。



(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

【ヒアリング内容】

■現在の状況

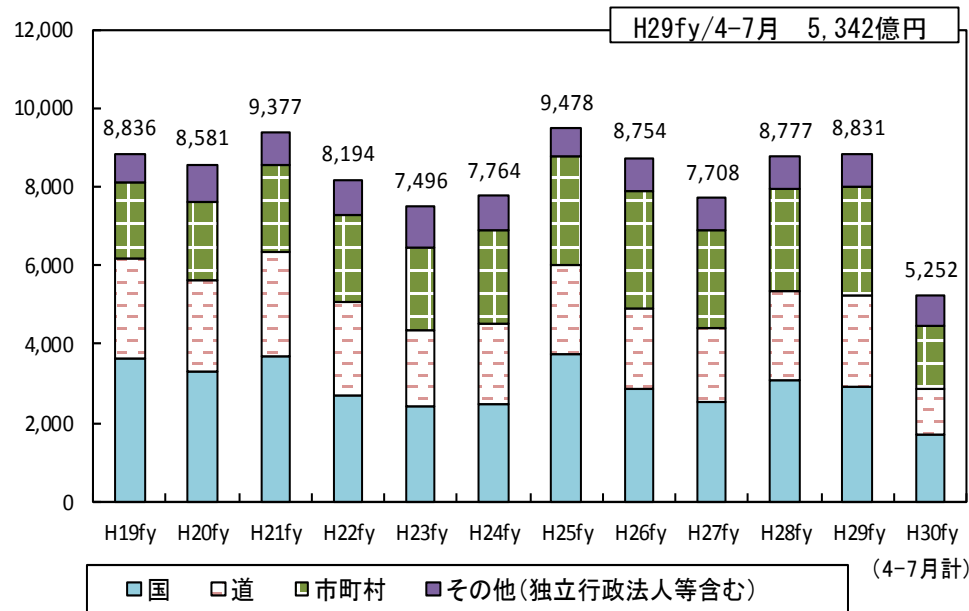
・平成28年の台風災害に伴う復旧工事の一巡と、大型工事の発注が概ね終了したため、発注額が前年を下回っている。(関係機関)

■先行き

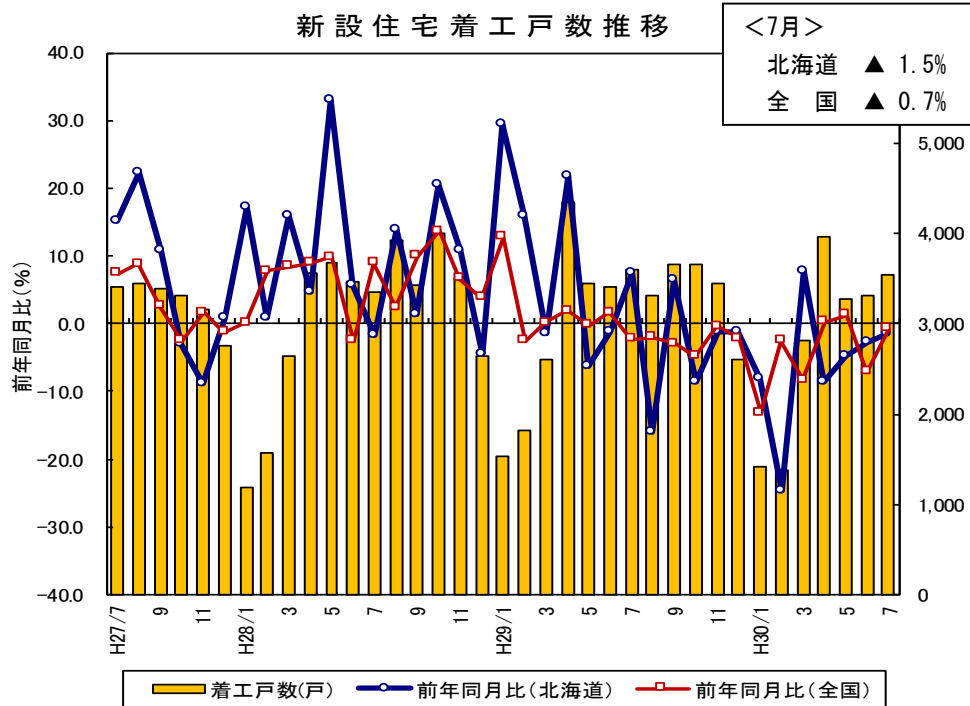
・7月の大雨被害に伴う復旧工事がこれから順次発注されていこう。(関係機関)

公共工事請負金額推移(年度別累計)

(億円)

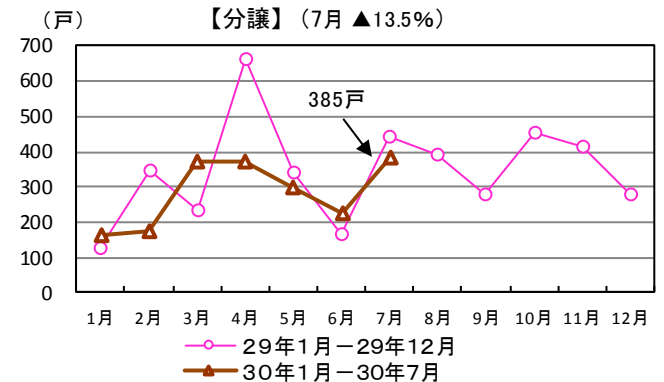
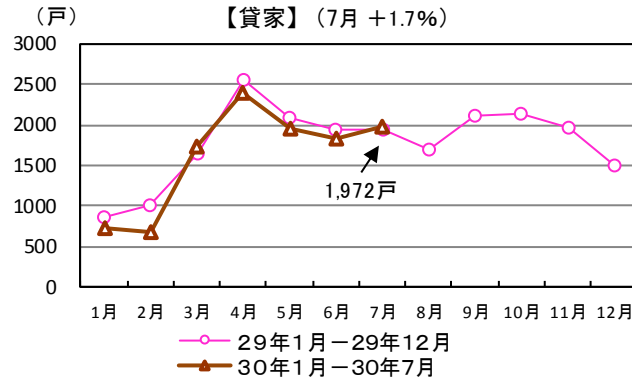
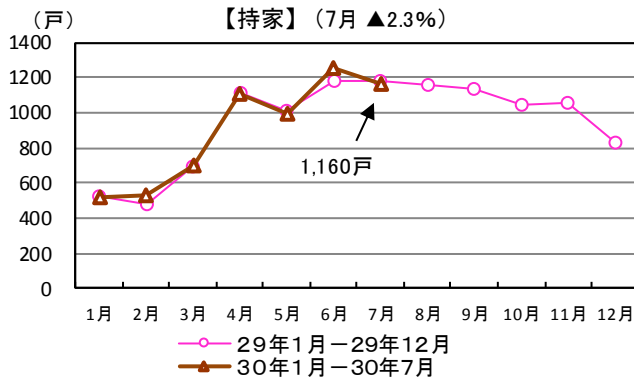


7月の新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回ったものの、持家及び分譲が前年を下回り、全体では、前年同月比▲1.5%と4か月連続で前年を下回った。



【ヒアリング内容】

- 現在の状況
  - ・ 持家が前年比で減少となったものの、分譲住宅を含む戸建ては堅調な動きが続いている。一方、貸家は札幌市内で複数着工があったことから、前年を上回ったが、相続税対策による新規着工の一巡から、減少傾向が続いている。(関係機関)
- 先行き
  - ・ 来秋予定される消費税増税及び関連する減税対策や、今後の住宅ローン金利の動向によっては、新規着工にも影響が出るだろう。(関係機関)



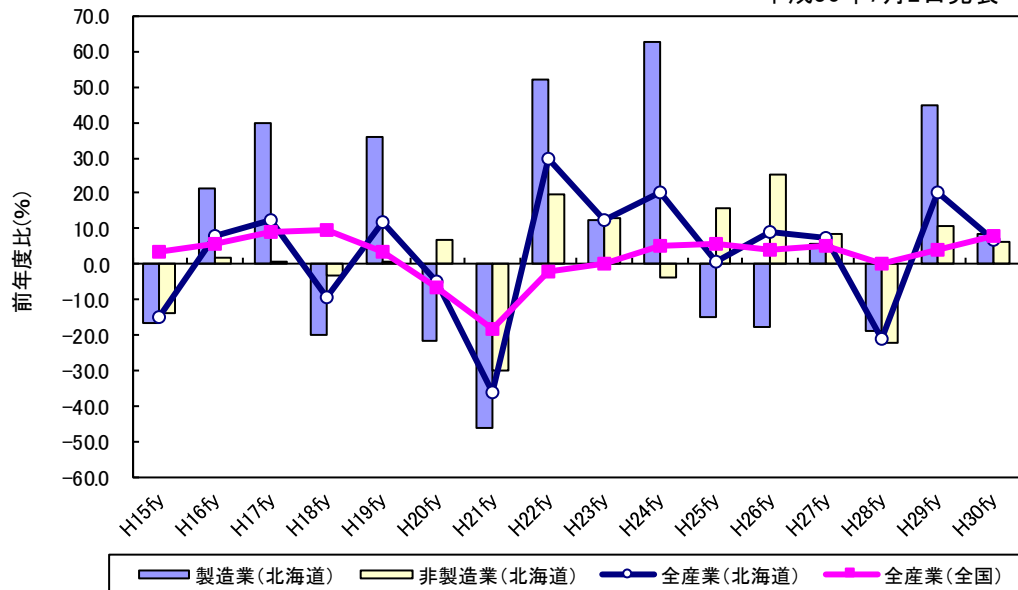
(資料:国土交通省)



30年度の設備投資計画は、全体で前年度比+7.1%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向(製造業、非製造業別)

平成30年7月2日発表



【ヒアリング内容】

■製造業

- ・ 飲食業界向け調味料の需要増に対応するため、設備を增強し、生産性向上を図る。(食料品製造業)
- ・ 建設向け金属部品の需要増に対応するため、新工場を建設し、生産能力を增強する。(金属製品製造業)

■非製造業

- ・ 道産食品の輸出拡大に対応するため、食品用の大型冷蔵冷凍倉庫を新設する。(運送業)

法人企業景気予測調査(設備投資)

平成30年6月12日発表

	29年度	30年度計画
北海道	+ 12.3%	+ 7.1%
製造業	+ 41.6%	+ 8.8%
非製造業	+ 0.5%	+ 6.2%
全国	+ 4.4%	+ 7.9%

注)土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

(資料:日本銀行札幌支店)

対前年(同期)比 増減率(%)	30年度		
	上期	下期	
全産業	6.8	16.1	0.5
製造業	12.7	8.0	16.5
非製造業	3.5	21.3	▲ 7.6

注)ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料:北海道財務局)

7月の有効求人倍率は、1.16倍と前年同月差0.07ポイント上昇し、102か月連続で前年を上回った。

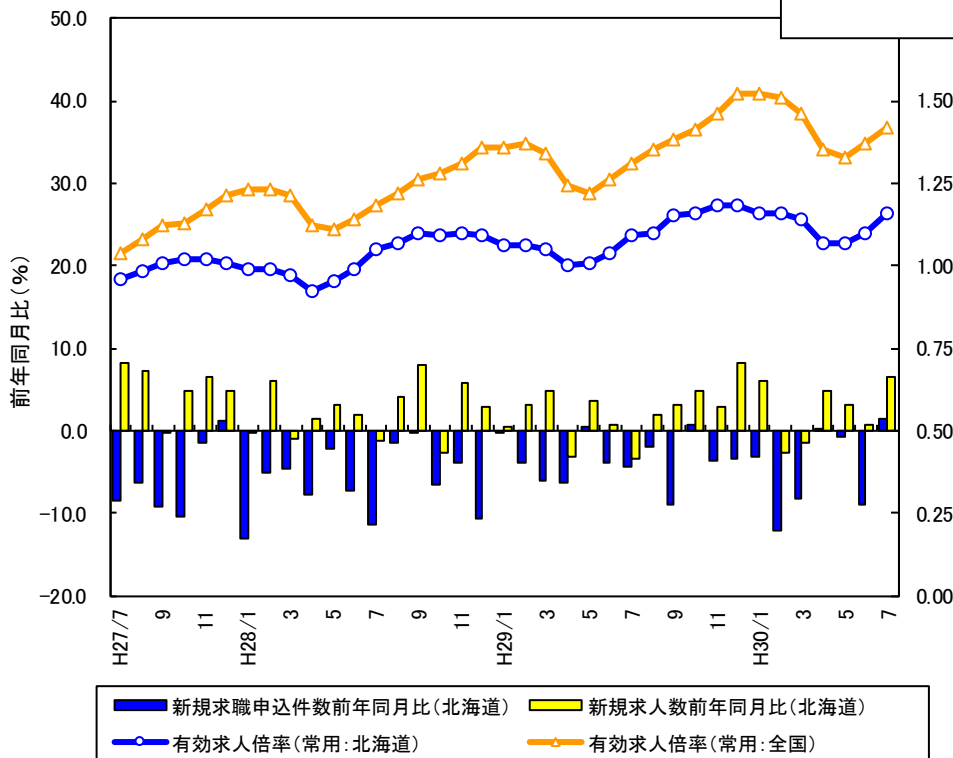
<7月>

北海道  
 有効求人倍率（常用）1.16倍  
 新規求職申込件数 + 1.5%  
 新規求人数 + 6.6%  
 全国  
 有効求人倍率（常用）1.42倍

<職種別有効求人倍率の例>

型枠大工、とび工	10.01倍	選別作業員、軽作業員	0.17倍
整備工・修理工	3.18倍	一般事務員	0.29倍
ホームヘルパー、ケアワーカー	2.99倍	駐車場等管理人	0.68倍
調理人、調理見習	2.63倍	会計・経理事務員	0.70倍
給仕、接客サービス員	2.57倍	生産機械制御・監視員	0.97倍
自動車運転手	2.17倍		
販売店員、訪問販売員	1.64倍		

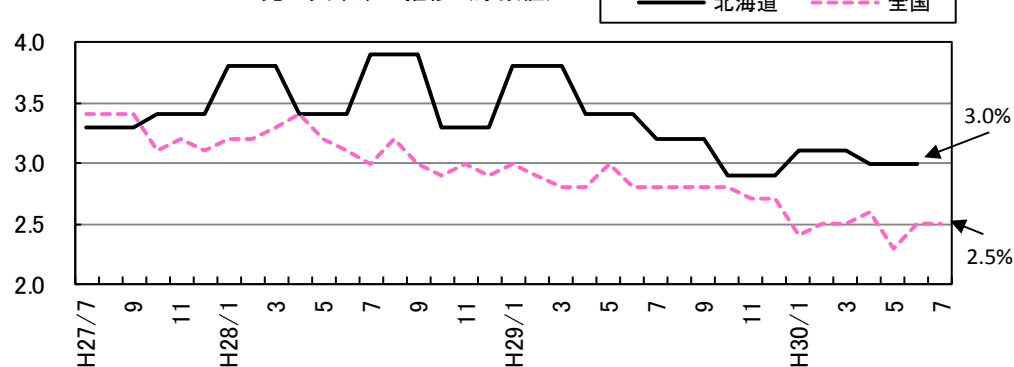
有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



【ヒアリング内容】

- 製造業
  - ・ 人手不足対策として、賃上げは実施済みであり、今後、休日・残業時間や休憩施設などを積極的に改善したい。（食品製造業）
  - ・ 重労働業務は業者に委託しているが、営業部門は定年後の再雇用によりシニア層を活用している。（飲料・たばこ・飼料製造業）
- 非製造業
  - ・ 公共工事予算の削減時に採用を控えたことなどから、技術者不足となり、技術者の確保・定着を図るため、手当の増額を行った。（建設業）

完全失業率の推移（原数値）



（資料：厚生労働省、北海道労働局）

（資料：総務省）

企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少している ～

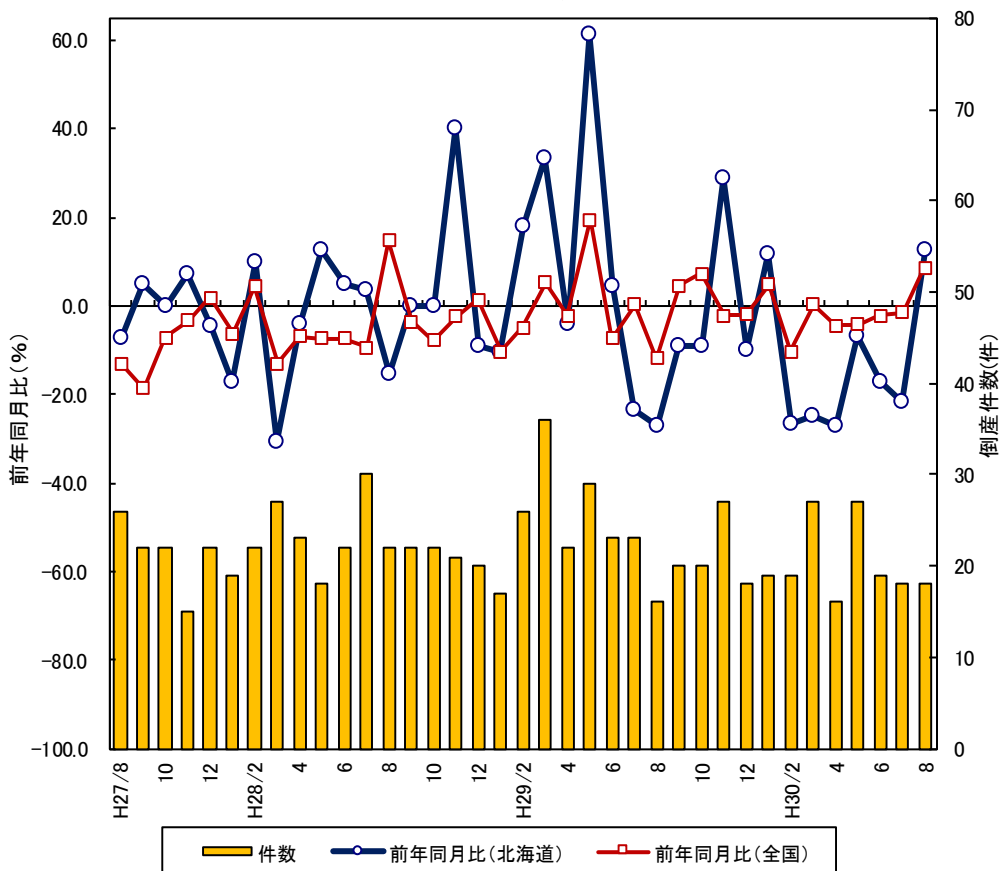
企業倒産

8月の倒産件数は18件で、前年同月比+12.5%（2件増）と7か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は15.6億円で、同▲29.6%と3か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数推移

<8月>

北海道 + 12.5%  
全国 + 8.6%



(資料: (株)東京商工リサーチ)

【ヒアリング内容】

- 先行き
- ・当面、企業倒産が急増する要因は見当たらず、小康状態が続くとみられる。(関係機関)

企業倒産負債総額推移

